再生の題字（森廸彦様提供）は、森信三先生の直筆です。

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

椰子林の中をくぐりて降りる道
こごしくも今し断崖に臨む（足摺岬）

森信三先生あいうえお語録より

写真提供：浅井周英先生

第0039号

2019.11月号

令和元年

実践人福岡仁風読書会

現代における考の哲理

― マナコを閉じて親の祈り心を ―

森　信三先生　講述

五　親を軽視するものは自己の運命を呪うものといえよう

先天的運命

第一章の初めにわたくしは、「親を選んでこの世に生れたものは、一人もない」ということを申しましたが、われわれ人間はこの世へ生まれ出た途端に、すでにそれぞれの運命を背負っているのでありまして、これはいわば先天的運命ともいえましょう。このような先天的運命が、その人の一生のすべてを決定づけるというのではありませんが、しかし大きな条件の一つであることには、だれしも異論はなかろうと思います。

しかもこうした先天的な条件は、自分の意志によってこれを回避することはゼッタイに許されないのであります。では生まれながらにして、賢愚・貧富・美醜の差があるのは、不公平きまわることではないが、とひと理屈が成り立つようですが、しかし賢愚ひとつを例にとってみましても、いづれを賢としいづれを愚とするかは、必ずしもたやすく判定がつきかねるのでありまして、人々の見方や標準のいかんで、評価は必ずしも一定しかねるといえます。それと共にもう一つ、その人の後天的運命に対して先天的運命のプラスのすべてが、必ずしもプラスに作用するとは限らず、逆にマイナスを条件が却ってプラスに転ずる場合も少なくはなく、かくして人間の運命は、結局は神ならぬ身の知るよしもないのであります。同時にここに陰・陽の理を説く中国の「易」の哲理の深意があるわけでありまして「陰極まって陽に転じ、陽極まって陰に転ずる」という陰・陽の無限の循環交替の理は、これを歴史の栄枯盛衰の上にも見ることが出来るのであります。

肚をすえる

話を元にもどすとして、わたくしたちこの「生」は前々から申すように、元来われわれ自身の選んだものではなくて、あくまでも与えられたものなのであります。言いかえますと、天与のものであります。いわば天からこの「生」をリッパに果たすように――とこの肉体と共に貸し与えられたものであります。同時にかく貸し与えられたものである以上、これをお返しすべき刻限の到来がいつの日にか来るわけであります。それ故わたくしたちはそれを覚悟の上で、この天与の「生」を大事にしつつ、全力をもって生きる心構えというか、心意気こそ、ある意味では人間としての肚のすえ方だといえるのではないでしょうか。

実践人福岡仁風読書会　第36回　10月5日(土)

場所:福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号　仁風庵にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。

(参加費無料)　詳細は、世話人へお問い合わせください。

ぐりいし先生　三十年後に望みをかけた教育

連載３２回

第三部　忘れせぬかも

岡部　重　著作

新しい書道教育

新教育の美名のもとに、小学校における書き方は見る影もないように抹殺されてしまった。

しかし、書というものは我々日本人の心から消え去ることはない。現在の書道界の興隆は全くこのことを物語っているし、一般大衆の要望も関心も、年毎に高っていることをみても、そのことはうなずける筈である。

書道界の大御所鈴木翠軒先生は、

「書は、日本人の心の故郷である。」

と喝破された。又、小森先生の教えを受けているうちに、書道教育は、そのまま性格教育であるということに考え到った。私は三並校で、このことをやって見たいと思った。

赴任早々、先生が、子どもの作品を持って来られた。私はまだ自信はなかったけれど、作品を見て、この子は臆病、この子はおしゃれ、この子はお脳が弱いなどと、その子の性格を言ってみた。先生方は、そのいちいちが、当たっていることに驚かれ、書と性格の関係に気づかれた。主任の池田先生は、新卒当時、学級経営案の見事さに驚いたあの優秀熱心な先生だったが、放課後を利用して一年生から指導を初められた。私も乞われるもまに、学級を巡って一しょに研究した。

私は、手本を与えてその通りに見て書くという従来の方法をとらないで、子どもたちの力で作り上げて行く方法をとった。自由に子どもが書いたものをていねいに観ながら、その長所美点を紹介していった。もちろん参考手本等を鑑賞させることはあったが、その通りに、意味なくまねるのではなく、そこに流れている原理を発見し、自分のものに取り入れる方法をとった。美点の賞讃賞揚は惜しみなく朱で大きな丸を幾重にもつけてやった。上手と下手とで別けるのでなく、気力の充実、個性の表現かどうかに観点をおいた。子どもたちは楽しんで書いていったが、型にはまらない活々とした三並書風が出来上がり、朝倉書道界の先生方も、一見して三並だとわかり尊重された。

楠田君は、どうしてか学校生活に適応せず全く閉鎖的だったが、無口なだけに書き方だけは熱心に書いた。はじめは形にもならないくらいであったが池田先生は、その邪気のない字をいつも励まし続けられた。たまたま、朝倉書道会で、同君の字が認められ、揮毫会の予選にパスしたので代表選手として特別訓練をした。同君は初めてそのことによって、大きな優越感を味い閉鎖的な性格から脱け出し初め、性格も明るくなり、勉強にも自信を持つようになった。後に朝倉農業高校を卒業し、今はりっぱな農業人となった。

また、興膳君は次章のお母さんの手記にあるような経過をたどり、習字によってひどいドモリもなおった。それから、なおも熱心に練習をつづけ、二年の終りには朝倉書道会で銀賞一席に入賞した。その後また書道随一の大東文化大学で第一回全国大会があった時、かねて苦労が実って、特別賞に入賞し、授賞式の招待状が来た。母子の努力が報いられた喜びと、この機会に更に優越感を味わせ大きな希望を持たせたいと思い、この母子と私は東京の会場に駆けつけた。東京のまん中で賞状賞牌を戴くときの同君の喜びはどんなにあったろう。母はこの晴れの姿を写そうと写真機を用意してあったが、遂に万感胸に迫り、涙にくれて写真を撮ることができなかった。同君はそれから一切の迷いが心の中から消え、希望にもえて勉強にいそしみ農家の長男であるので、朝倉農業高校に進んでいる。

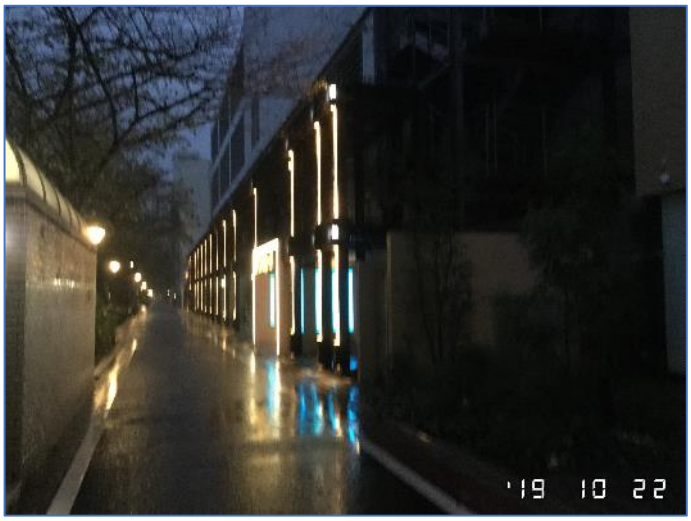
同君は、畑島部落の下原で、父は私の教え子でもあった。七夕さまの日案内をうけて下原に行ったら、他部落とちがって、そこには、練習の用意がしてあった。突差ではあったが、私は最初の手ほどきを二時間ばかりもしたであろうか、新しいやり方に、集ってきた母親たちは、こぞって感嘆され、週一回この調子で教えてもらいたいと言われる。私は土曜の帰りを利用して欠かさず教えに立ち寄った。その部落から、朝倉書道会で、最高賞や天賞、地賞、毎日新聞社揮毫会でも特選、そしてさきの興膳君の上京、次には日本書道研究所主催の大会にも特別賞二名を出し、この時も私は付添って上京せざるを得なかった。

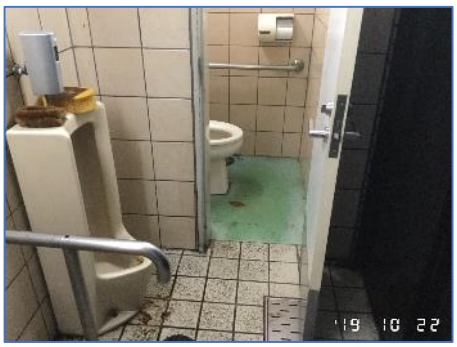
新新塚駅早朝清掃/いいづか明星寺団地自治会

10月26日（土曜日）

菅刈公園早朝清掃（自分の最終回） 東京都目黒区青葉台

10月22日（火曜日）

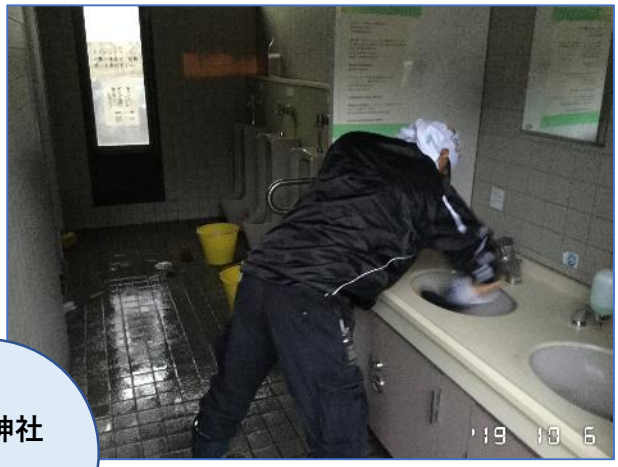




鍵山事務所の阿部さんが10月いっぱいで退職されるということで、菅刈公園早朝清掃も今月で終了となるそうです。自分は昨年4月より上京の折り毎月参加させていただいていましたが、今月この日が最後の活動となってしまいました。阿部さんに於かれましては、この地で18年間にわたり地方からの道友を迎えて頂き、自らの率先して実践の教えで導いて頂きました。ほんとうに有難うございました。心より深く感謝御礼申し上げます。
これからも健康に留意され、掃除実践の希望の星として輝き続けて頂きたいと祈念しております。
菅刈公園は掃除道のメッカとしてみなの心に永遠です。

第116回　冷泉公園＆櫛田神社早朝清掃

10月6日（日曜日）



櫛田神社

５名参加

冷泉公園

５名参加

第311回　博多駅早朝清掃

10月8日（火曜日）　　70名参加

第３１１回「博多駅早朝清掃」を７０名の参加者で行いました。帆足先生が「掃除は教育の延長」と仰っていました。小学生から大学生まで、今や留学生までが参加する博多駅早朝清掃は真に教育の延長となりつつあります。8月より司会は、小学６年生の担当！だいぶ慣れてきたようです。

'19 10 8

早朝清掃
'19 10 8

'19 10 8

'19 10 8

'19 10 8

'19 10 8

毎月8日 午前6時15分～
STARBUCKS COFFEE

15号、19号台風と被害を受けた埼玉県川越市ですが、熊野那智大社への奉献米は無事収穫を終えました。。

深谷市のOさん農家のミニトマトも台風15，19号の被害も免れ無事に収穫の時期、この日はお掃除道友Oさんが収穫体験に参加でした。

日本を美しくする会
大正村掃除に学ぶ会

2019/10/19

2019/10/19

2019/10/19

2019/10/19

2019/10/19

2019/10/19

生命の林と人生　三七、　デクノボー教

019-10

光然京カルデラ

二〇一九年一〇月一九日
広葉の林を育てる会
興膳　丈治

それが黒鉛筆、青鉛筆、赤鉛筆、黄鉛筆で、さまざまに色を変えながら、じつにたんねんな賢治的な書き方でずっと書いてある。そしてその題目の間に小さい字でちょこちょこっと感想みたいなものを書きつけているのですが、それが自分の病にたいする恐れ、不安感、その病からどのようにしたら救われるのか、病気が治るかといったことが、めんめんと記されています。この「最後の手帳」の段階では、賢治の病気はかなり進行していて、そこからなんとかして脱け出したいという気持ちがそこに滲み出ていて、それがじつによくわかるんですね。

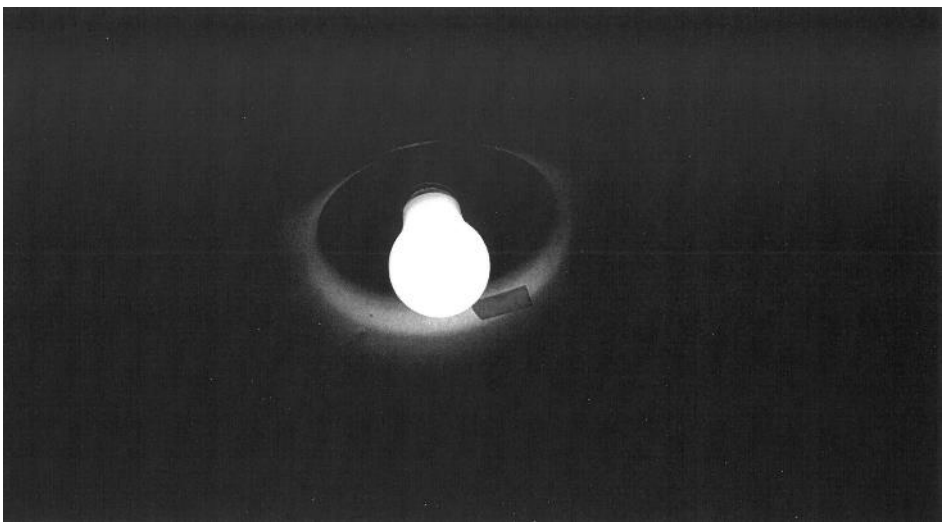
そういう「手帳」の真ん中あたりのところに、「雨ニモマケズ」の一節がぽんと出てくるわけですね。つまりその前後は法華経の題目がいわば林立している。そのような中にぽつんと「雨ニモマケズ」の詩が出てくる。私はこのことをどのように解釈すればいいのかと迷うのですが、この「南妙法蓮華経」が林立する世界をあたかも貫くような形でデクノボー教の世界がぽわーっと現れてくるように思えるわけです。とすればこのデクノボー教とはいったい何か、ということになるのですが、それは仏教でもキリスト教でもないような気がする。あるいは仏教でありキリスト教でもある世界といってもよい。とはいっても、賢治の宗教性、精神性の中心はもちろん法華経信仰にあるとは思うんですが、しかしそれをはるかに超えるようなところもある。

一方ではまた、浄土真宗の世界もある。さきに梅原さんが指摘された天台本覚論的な世界も含めて、賢治の宗教世界はたいへんな広がりの中でどんどん拡大していったのだろうと思います。

そして、そういう言葉が出て来たのではないでしょうか。ですから、ここでもしも「デクノボー教」という表現が許されるとすればこのデクノボー教というのは、日本人の根源的な宗教性そのものをあらわしているのではないか、と私は思うのです。

雨ニモマケズ
風ニモマケズ
雪ニモ夏の暑サニモマケヌ
丈夫ナカラダヲモチ
欲ハナク
決シテ瞋ラズ
ミンナニ
デクノボートヨバレ
ホメラレモセズ
クニモサレズ
サウユウモノニ
ワタシハナリタイ

創造の世界　第100号秋　より
デックノボーの世界　山折哲雄
発行所　小学館　1996年11月1日



再生十一月号

令和元年十一月八日発行（毎月一回八日発行）創刊 平成二十八年九月一日 発行人 冨吉袈裟右衛門

	11 月の活動予定表								12 月の活動予定表									
日	2	2	3	3	8	9	10	23	2	7	7	7	8	15	15	17	28	28
曜	土	土	日	日	金	土	日	土	日	土	土	土	金	日	日	火	土	土
行事活動名	福岡空港ミリオン清掃 第18回	仁風読書会	櫛田神社トイレ磨き	冷泉公園トイレ磨き＆ゴミ拾い 第117回	博多駅早朝清掃 第312回	伊東掃除に学ぶ会 年次大会	埼玉県農業生産者 支援	新飯塚駅早朝清掃	埼玉県農業生産者 支援	福岡空港ミリオン清掃 第19回	仁風読書会	福岡掃除に学ぶ会 年次大会	博多駅早朝清掃 第313回	櫛田神社トイレ磨き	冷泉公園トイレ磨き＆ゴミ拾い 第118回	鹿児島県農業生産者 支援	新飯塚駅早朝清掃	年末餅つき大会
場所	福岡空港 周辺一万m	福岡空港 月隈第一緑地	櫛田神社	冷泉公園	博多駅筑紫口	静岡県伊東市	埼玉県川越市	福岡県飯塚市	埼玉県川越市	福岡空港 周辺一万m	福岡空港 月隈第一緑地	ホテルクリオコート博多	博多駅筑紫口	櫛田神社	冷泉公園	鹿児島県姶良市・南九州市	福岡県飯塚市	仁風庵
開始時刻	6時30分	8時00分	6時	6時40分	6時00分	9日～10日	10日～12日	6時30分	1日～2日	6時30分	7時30分	13時	6時00分	6時	6時40分	17日～23日	6時30分	9時
運営団体	福岡掃除に学ぶ会	福岡実践人	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	伊東掃除に学ぶ会	NPO法人楽農人	いいづか掃除に学ぶ会	NPO法人楽農人	福岡掃除に学ぶ会	福岡実践人	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	NPO法人楽農人	いいづか掃除に学ぶ会	楽農人福掃会 合同

発行人（編集人）冨吉　袈裟右衛門

◇福岡掃除に学ぶ会／認定NPO法人 日本を美しくする会
◇福岡仁風読書会／一般社団法人 実践人の家
◇仁風自然塾／特定非営利活動法人 楽農人

〈合同事務局〉 〒811-2247
福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 ≪仁風庵≫
TEL 092-931-8155（掃除） 931-8150（読書） FAX 092-931-8120
E－mail fukusoukai@souji.link（掃除） agri@kesajin.link（農業）

「再生」に掲載している写真は、冨吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。